

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成29年11月30日(2017.11.30)

【公開番号】特開2016-82475(P2016-82475A)

【公開日】平成28年5月16日(2016.5.16)

【年通号数】公開・登録公報2016-029

【出願番号】特願2014-213649(P2014-213649)

【国際特許分類】

H 04 N 5/232 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 5/93 (2006.01)

H 04 N 5/76 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/232 Z

H 04 N 5/225 F

H 04 N 5/93 Z

H 04 N 5/76 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月17日(2017.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被写体から入射された光線の方向及び強度を示す情報を含む画像データを用いて、フォーカス位置が変更されたリフォーカス画像を生成するリフォーカス画像生成手段と、動画の再生に係る再生モードの種類に応じて、前記動画の再生に用いられるリフォーカス画像の被写界深度を設定する被写界深度設定手段とを備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記再生モードは、通常再生モード及びサーチ再生モードを含み、前記サーチ再生モードは前記通常再生モードよりも高速に再生が行われる再生モードであることを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記サーチ再生モードでの再生に用いられるリフォーカス画像の被写界深度は、前記通常再生モードでの再生に用いられるリフォーカス画像の被写界深度よりも深いことを特徴とする請求項2に記載の画像処理装置。

【請求項4】

前記被写界深度設定手段は、サーチ再生モードの再生速度に応じて被写界深度を設定することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の画像処理装置。

【請求項5】

前記リフォーカス画像生成手段は、フォーカス位置が異なる複数のリフォーカス画像を結合することにより前記サーチ再生モードに用いられるリフォーカス画像を生成することを特徴とする請求項2に記載の画像処理装置。

【請求項6】

前記リフォーカス画像生成手段は、所定のフレーム数ごとに前記サーチ再生モードに用

いられるリフォーカス画像を生成することを特徴とする請求項 5 に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記リフォーカス画像生成手段は、前記画像データの撮影後から前記サーチ再生モードでの再生が行われるまでの期間に、サーチ再生モードに用いられる画像を作成し、記録メディアに記録することを特徴とする請求項 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 8】

被写体から入射された光線の方向及び強度を示す情報を含む画像データを用いて、フォーカス位置が変更されたリフォーカス画像を生成するステップと、

動画の再生モードの種類に応じて、前記動画の再生に用いられるリフォーカス画像の被写界深度を設定するステップと

を備えることを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 9】

被写体から入射された光線の方向及び強度を示す情報を含む画像データを用いて、フォーカス位置が変更されたリフォーカス画像を生成するリフォーカス画像生成手段、及び

動画の再生モードの種類に応じて、前記動画の再生に用いられるリフォーカス画像の被写界深度を設定する被写界深度設定手段

としてコンピュータを機能させることを特徴とする画像処理装置の制御のためのプログラム。

【請求項 10】

請求項 9 に記載のプログラムを格納した、コンピュータが読み取り可能な記憶媒体。